



社協だより

2019

No 86

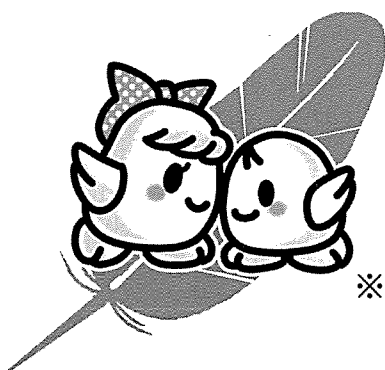
平成31年1月15日

(発行所) 奈井江町社会福祉協議会 (電話65-6066番 FAX65-6067番)



(写真: 歳末たすけあい演芸大会より)

赤い羽根共同募金・
歳末たすけあい募金への
ご協力ありがとうございました



※ “社協だより” は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。



年頭のご挨拶

奈井江町社会福祉協議会

会長 二口 敏次郎

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、平成三十一年の新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、社会福祉協議会が行う様々な事業の推進にあたり、格別なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、日頃より各地域でのボランティア活動や各施設等へのご協力・ご支援、様々な場面でのお手伝い等、積極的にご協力を賜り、社会福祉活動の展開に大きな役割を果たしていただいておりますことに、重ねて感謝とお礼を申し上げます。

さて、今日の人口減少や少子高齢化が進む中、福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、大きな社会問題となっております。

これらの諸問題を解決していくためには、公的な支援体制のみならず、今薄れつつある「人と人との絆づくり」や「地域社会での支え合う地域力を高める」ことが大切であり、社会福祉法人として社会福祉協議会が果たす役割は極めて重要と感じております。

当協議会といたしましては、事業計画の基本方針であります「住み慣れた地域で、自分らしさを失わず、誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり」を目指し、地域とともに邁進する所存であります。

本年も町民の皆様からの変わらぬお力添えをお願い申し上げますとともに、関係機関との連携・協働を深め、社会福祉の充実を目指すことをお約束いたします。

最後になりますが、本年も皆様におかれましては、幸多い年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

社会福祉協議会

会長 二口 敏次郎(本町地区)
副会長 大 楠 哲 行(民生委員代表)
常務理事 橋 本 ミ エ(女性団体代表)
理事 石 塚 俊 也(町行政代表)
森 山 哲 示(北町地区)
西 田 修(南町地区)
南 水 英 一(東町地区)
清 水 三 郎(瑞穂地区)
萬 林 博 六(白山地区)
桑 島 雅 憲(大和地区)
松 田 幸 司(厳島・宮村地区)
鈴 木 幸 勉(茶志内地区)
仲 丸 茂 広(高島地区)
石 川 紀 子(向ヶ丘地区)
川 端 精 朔(福祉施設代表)
梅 本 てる子(女性団体代表)
小 谷 博 之(ボ連協代表)

監事

堀 野 忠 雄
中 野 忠 雄

日本赤十字社奈井江分区分区長 三本 英 司

奈井江町共同募金委員会 会長 大 楠 哲 行

ボランティアセンター 委員長 小 谷 博 之

シルバーセンター

会長 岡 澄



新年のご挨拶

奈井江町共同募金委員会

会 長 大 櫛 哲 行

あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、清々しい新年を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素より共同募金活動へ、温かい支援とご協力を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

さて、毎年厳しい社会情勢が続く、家庭生活が逼迫する中で、地域住民一人ひとりが社会のつながりを持ち、住み慣れた地域で必要な支援を受けながら生活を維持していくことは、大変重要なことであります。

昨年一〇月一日からの『赤い羽根共同募金』、一二月一日からの『歳末たすけあい運動』では、基本理念にあります「相互扶助」の思いを大切に、地域に住む皆様が安心して暮らせる地域づくりを目指し、「じぶんの町を良くするしくみ」として運動を展開してまいりました。

運動期間中には、町民の皆様をはじめ、各行政区、町内事業所、日赤奉仕団、更生保護女性会、民生委員児童委員協議会、各ボランティア団体などから心温まるご支援とご協力をいただきましたことに、厚くお礼申し上げます。

皆様から寄せられました浄財は、赤い羽根共同募金の約七割、歳末たすけあい募金のほぼ全額を奈井江町内の支援が必要な方々等に対しまして、有効に活用させていただいております。

共同募金は、地域に根ざした募金運動として、皆様にわかりやすく、親しまれ、共感の得られる活動になるよう努力し、民間福祉活動を支えていく所存でございます。

本年も、一層のご理解と絶大なご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

心配ごと相談員名簿

担当委員	住 所	電 話	担当委員	住 所	電 話
伊藤 義孝	北 町 1 区	65-4077	山口 勲	東 町 6 区	65-2871
福井 泰矩	北 町 3 区	65-3268	沖野 順一	南 町 1 区	65-4754
伊月 光夫	北 町 4 区	65-3537	清野 康弘	南 町 6 区	65-5543
堀 則文	北 町 5 区	65-4362	森本由利江	南町 2 区甲	65-5548
中村 尚子	本 町 3 区	65-5174	本濃 幸彦	南 町 8 区	65-3667
小林 仁	本 町 5 区	65-2569	川浪 孝行	南 町 8 区	65-4563
大櫛 哲行	本 町 6 区	66-2231	鈴木 良子	宮 村 1 区	65-2257
上嶋 幸子	本 町 9 区	65-2528	高田 雅宏	白 山 3 区	65-4329
大道 京子	東 町 1 区	65-3839	北山 武史	瑞 穂 2 区	65-3503
坂下みゆき	東 町 4 区	65-2820	鈴木 勉	茶 志 内 9 区	65-3772
傳福 勝雄	東 町 5 区	65-2542	小林 広幸	高 島 2 区	65-2829

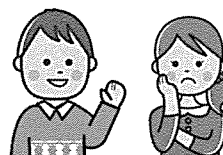
※民生委員相談のほか、中空知法律相談センター弁護士による心配ごと相談所も開設しております。お気軽にご利用ください。

相談日：毎月第3水曜日の午後1時30分～午後3時30分まで

困った時は心配ごと相談所へ

社会福祉協議会では、毎月第一水曜日の午前9時から正午まで民生委員による心配ごと相談所を開設しています。あなたの身のまわりで起こった心配ごと（暮らし・家庭・健康・福祉・教育・苦情等）について相談員がお話し相手となり、力添えをいたします。もちろん内容については秘密厳守いたしますし、相談料も無料です。また、電話によるご相談も応じますのでご利用ください。

(電話六五・六〇六六 社協事務局)



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金へのご協力ありがとうございます

地域福祉に役立っています

～赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金～

昨年10月から12月までの3ヶ月間、赤い羽根共同募金運動が展開されました。

10月2日～4日の街頭募金では、町理事者、民生委員協議会、社会福祉協議会、奈井江商業高校生徒会などのご協力により、街行く人々に募金を呼びかけました。また、行政区や法人、篤志募金などにより多額の寄付が寄せられました。

集まった共同募金は、福祉施設の整備や高齢者団体、各ボランティア団体及び社会福祉協議会に配分され事業運営に活用されております。「社協だより」も共同募金配分金により

作成されております。

さらには、12月から始まった歳末たすけあい募金運動でも、行政区や篤志募金のご協力を頂き併せてお礼申し上げます。また、12月9日に行われた歳末チャリティーバザー・演芸大会においても関係団体等のご協力のもと盛会に終りました。

昨今の不況により、大変厳しい経済情勢にもかかわらずご協力いただきました皆様に対し、心から感謝とお礼申し上げます。歳末たすけあい募金は、町内の各福祉施設や準要保護世帯等に見舞金などとして活用させていただきました。

今後とも募金運動の推進にあたり、町民の皆様の格段なるご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



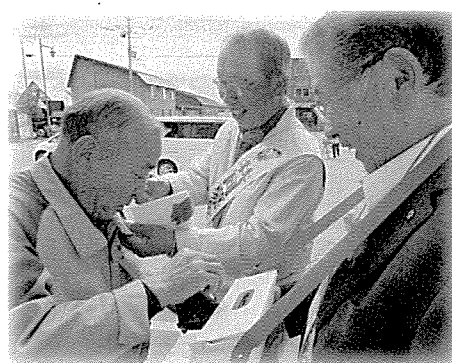
◎平成30年度奈井江町の実績

【赤い羽根共同募金】

区 分	実績額(12月14日現在)	H29年度実績額
行 政 区 募 金	381,000円	411,400円
街 頭 募 金	38,380円	31,542円
法 人・大 口 募 金	553,000円	582,100円
学 校・職 域 募 金	18,682円	10,037円
チャリティーパークゴルフ大会募金 他	37,686円	44,752円
合 計	1,028,748円	1,079,831円

【歳末たすけあい募金】

区 分	実績額(12月14日現在)	H29年度実績額
行 政 区 募 金	337,200円	424,400円
個 人・団 体・諸 行 事 等	200,482円	314,611円
合 計	537,682円	739,011円



みなさんの
暖かい笑顔と募金に
お礼申し上げます。



今年も大盛況!!

～歳末たすけあい チャリティーバザー・演芸大会～



去る12月9日、第48回歳末たすけあいチャリティーバザー・演芸大会が文化ホールにおいて開催され、大勢の方々にご来場いただきました。

毎年好評の『バザーコーナー』では、福祉施設など協力団体の出店や各ボランティア団体、町民の皆様から寄贈いただきました日用品等約1,019点の品物がところ狭しと並べられ、開場時間前からつめかけた皆さんであふれんばかりのにぎわいを見せ、各女性団体の方々がうでによりをかけて作った『食事コーナー』では、そば、おでん、甘酒などが大変好評でした。

また、午後から開催された演芸大会では、キッズ落語のほか、毎年恒例の山本ナツ子ショーや各団体による舞踊、フラダンス、カラオケなど、多彩な演芸の数々に会場内は拍手が鳴り止まないほどの大盛況となりました。

最後に町民の皆様のお心遣いのご協力により、この事業が無事開催できましたことに深く感謝申し上げますとともに、今後も『歳末たすけあい運動』へのご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



歳末演芸大会及びチャリティーバザー益金計算書

団 体 名	代 表 者	金 額	備 考
奈 々 窯 会	会 長 熊谷 恵	23,050 円	陶芸品他
江 口 農 園	代 表 江口 敏文	5,000 円	漬物、ジュース等
し ら ゆ り 会	会 長 澤田千恵子	44,350 円	おでん・甘酒
女性団体連絡協議会	会 長 山 節子	45,150 円	そば・ライス
な い え 福 祉 会	総括管理 石川 健吾	2,500 円	椎茸等
ボ ラ ン テ ィ ア 連 絡 協 議 会		24,490 円	生花・野菜・餅等
歳 末 演 芸 大 会 入 場 券		147,900 円	300 円 × 493 枚
歳 末 チ ャ リ テ ィ ー 当 日 募 金		6,917 円	
各 ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 ・ 個 人 等		75,700 円	歳末チャリティーバザー寄贈品
収 入 合 計		375,057 円	
支 出 合 計		179,575 円	入場券、チラシ、材料費ほか
差 引 金		195,482 円	歳末たすけあい募金へ

皆様からご協力いただきました、平成30年度歳末たすけあい募金は、次のとおり助成させていただきました。

★歳末たすけあい見舞金配分内訳

◎準要保護世帯等（低所得者、母子、父子世帯）	730,000 円
◎里親家庭	20,000 円
◎障がい者施設	105,000 円
◎各共同生活援助施設並びに介護生活援助・一体型施設	61,500 円

計 916,500 円



女性団体連絡協議会



江口農園



ボランティア連絡協議会



しらゆり会



奈々窯会



赤十字奉仕団、
更生保護女性会



ないえ福祉会

毎年、
バザー
出店協力者
が
たくさん
います

※敬称略



レイナニフラダンスサークル



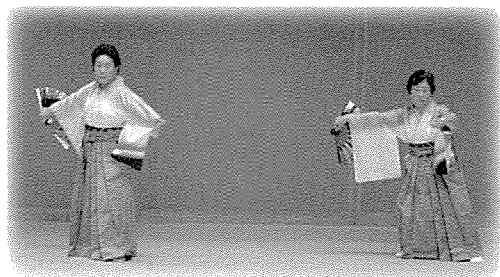
ゆう楽亭! キッス落語
面影亭 コキ丸



民舞踊
愛麗会



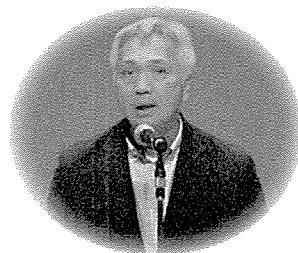
新舞踊
千鳥の会



演芸大会出演者

※敬称略

カラオケ
連絡協議会



レイアロハ奈井江フラダンスサークル



山本ナツ子社中



で出演
ありがとう
ございました

毎年恒例！ 共同募金チャリティーパークゴルフ大会開催

スポーツを通じて共同募金活動の普及とご理解をいただくため、去る10月18日、共同募金委員会主催のチャリティーパークゴルフ大会が開催され、今年で20回目を迎えました。

当日は、あいにくの天気の中、競技に参加された27名の方々は、受付の際にお願いした共同募金にも快く寄せていただきました。

開会式後、2ラウンド36ホールの競技では、ホールインワンなどの素晴らしいショットの出る白熱したゲーム展開となり、好成績が続出しました。

大会を全面的にご支援いただきました奈井江町パークゴルフ協会の方々をはじめ、当日参加されました選手の皆様に厚くお礼申し上げます。



◎大会結果 (敬称略)

・男性の部



優勝 青柳 利雄
準優勝 笹木 孝幸
3位 川口 進

・女性の部



優勝 高嶋 栄子
準優勝 大沼 昌子
3位 工藤 ユキ子

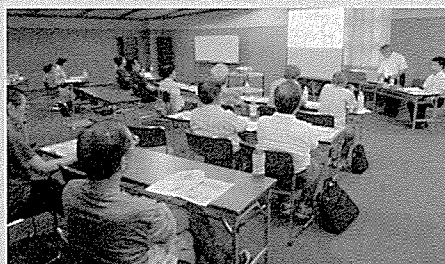


大会募金額
8,869円

小地域ネットワーク事業研修会

現在、小地域ネットワーク「たすけあいチーム」の活動は、各地区において地域事情に即した諸活動が展開されておりますが、この活動を進めるにあたり、活動中の悩みや苦労、また他の地区ではどのような活動をしているのか等、色々と気になることがあるようです。

そのような中、7月20日に開催した研修会では、小地域ネットワーク活動の大切さなどの講義とグループワークを通して他の地区との情報交換を行うことができました。



(研修の様子)



(グループワーク)

有効に活用されています

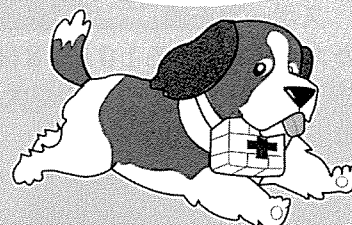
～日赤社資等実績報告～

毎年、日赤社員の募集及び寄付のお願いをいたしておりますが、今年も町民の皆様の温かいご協力とご理解により、多額の社資納入・寄付をいただきました。

いただいた社資・ご寄付につきましては、福祉活動・災害援護などの各種日赤事業に有効活用されております。

ここ数年、災害等が頻発し、日赤活動の重要性が高まっていますので、皆様のより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度
社資・寄付金納入状況
668,650円
(12月15日現在)



『平成30年7月豪雨災害義援金』及び、『平成30年北海道胆振東部地震災害』へのご協力ありがとうございました。

この度の災害で心温まる多額の義援金が寄せられました。各災害の義援金は、日本赤十字社と北海道共同募金会へ送金いたしました。町民の皆様の善意に心から感謝申し上げます。

※各災害の実績額 (12月20日現在)

『平成30年7月豪雨災害義援金』

◇北海道共同募金会

団 体 名 等	金 額
奈井江町南町8区	11,700
募金箱 (ふれあい広場)	2,700
募金箱	4,629
茶志内親睦会	3,100

◇日本赤十字社

団 体 名 等	金 額
西日本豪雨の被災者を救援する道民の会	85,953
個人	10,000
募金箱	4,629

※『平成30年7月豪雨災害の義援金』は、2019年6月28日まで延長となりました。



(西日本豪雨の被災者を救援する道民の会)

『平成30年北海道胆振東部地震災害』

◇北海道共同募金会

団 体 名 等	金 額
奈井江町南町2区甲	10,000
奈井江町南町8区	11,700
茶志内親睦会	3,100
厳島長寿会	5,000

◇日本赤十字社

団 体 名 等	金 額
奈井江町職員福利厚生会	177,000
個人	1,000

… ボランティアスクールの開催 …

福祉に対する住民意識の高揚と福祉共育の啓発を目的にボランティアスクールを開催します。

ボランティアについて、皆さんと一緒に学びませんか？

日 時 平成31年2月中旬 14:00～16:00 予定

内 容 サロン活動やレクリエーションを通じ、住民同士の交流 (調整中) 流や健康づくりなど、地域における互助の大切さについての内容で講義を予定しています。

会 場 文化ホール交流談話室

定 員 40名程度

参加費 無 料

申込先 社会福祉協議会事務局 ☎65-6066



【昨年度のボランティアスクールの様子】

心温まるご厚志に感謝申し上げます。

たくさんの方々より温かい善意が社協に寄せられました。
地域福祉増進のため有効に活用させていただきます。

平成30年7月3日より平成30年12月20日まで（敬称は略させていただきます。）

住 所	氏 名	金 額	内 容
南 町 3 区	眞 鍋 ひろみ	30,000	香典返し（母：眞鍋すゑ子氏死去）
高 島 1 区	仲 丸 茂 広	100,000	香典返し（母：仲丸シズ氏死去）
白 山 3 区	高 田 雅 宏	50,000	香典返し（妻：高田和子氏死去）
南 町 3 区	佐々木 優 子	20,000	香典返し（夫：佐々木次夫氏死去）
宮 村 1 区	北海道住電精密(株) 北海道電機(株) 北海道精密ツール(株)	7,000	社会福祉事業へ
大 和 7 区	(株)櫻井千田親睦会	69,401	社会福祉事業へ
茶 志 内 7 区	川 筋 宏 良	100,000	香典返し（母：川筋シズ子氏死去）
宮 村 1 区	山 中 重 利	100,000	香典返し（母：山中フサ子氏死去）
本 町 9 区	山 地 幸 子	100,000	香典返し（夫：山地哲夫氏死去）
宮 村 1 区	森 田 照 子	100,000	香典返し（夫：森田明氏死去）
茶 志 内 8 区	高 柳 哲 子	50,000	香典返し（母：北口初子氏死去）
本 町 9 区	三 輪 美恵子	100,000	香典返し（夫：三輪政則氏死去）
本 町 4 区	鳥 田 裕 子	50,000	香典返し（夫：鳥田進氏死去）
東 町 7 区	菅 原 勝 子	20,000	快気祝いとして
大 和 4 区	高 橋 保 子	30,000	香典返し（夫：高橋政吉氏死去）
本 町 5 区	藤 浦 美津子	30,000	香典返し（夫：藤浦繁氏死去）
東 町 7 区	露 木 芳 美	30,000	社会福祉事業へ



9月6日、(株)櫻井千田親睦会（代表：桜井雅聖氏）が社会福祉事業に役立ててと本年も産業祭チャリティ出店の益金を寄付してくださいました。



11月7日、しらゆり会（代表：澤田千恵子氏）が町立病院等の施設で役立ててと本年もたくさんのタオルを寄贈してくださいました。



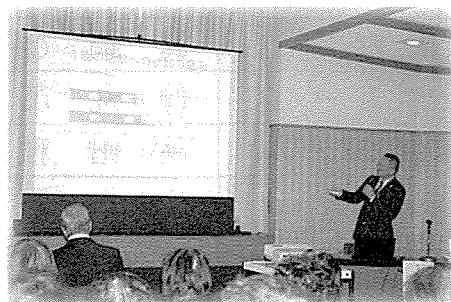
「地域のつながり、 支え合い」が大切です

生活支援体制整備事業から

講演会の開催

去る10月31日文化ホールにおいて、北星学園大学 社会福祉学部福祉計画学科 岡田 直人教授を講師に迎え、全町民対象に地域のつながり支え合い講演会を開催しました。

講演の中で、岡田氏は地域の支え合いを通じて、「身近に人の触れあう機会が増え、自分の居場所ができ、自分を必要としてくれる人がいると感じられ、相手から学ぶことが多く、日々の生活リズムとなり、外出の機会が増え、健康と自己肯定感情（有用感）が高まる」と話していました。また、「ふくしでまちづくり」の目指すものとして、お互いが「楽」になる、「好きだから」「面白いから」が人を喚び、参加者が役割を得ることで自尊感情・自己肯定感をもって主体的に盛り上がっていく等が目指していくものと述べていました。



サロン活動

介護予防サポーター交流会のグループワークの中で出たアイデアの一つとして、「サロン活動」の取り組みが各地区ではじまっています。

1. 「ラジオ体操の会」(本町地区)

活動内容は、運動を通じ介護予防を目的として、①4月～9月の毎週火・土曜日の朝7時より役場前駐車場で15分程度ラジオ体操。

②10月～3月は、茶話会を企画し、参加者同士の交流を深めております。

このサロンは、本町地区以外の方も参加可能とのことですので、ぜひお気軽にお越しください。



2. 「Cafe さくら&しゃべり婆(ば)」(南町地区)

10月1日より桜ヶ丘団地の有志ではじまりましたこのサロンは、桜ヶ丘団地高齢者相談室にて、木曜日10:30～14:00の時間で月2回程度開催しています。

活動内容は、お茶を飲みながらのおしゃべりを主としています。

南町地区以外の方の参加も可能とのことですので、ぜひお気軽にお越しください。



3. 「なないろサロン」(東町地区)

「なないろサロン」は『地域のつながり支え合い講演会』をきっかけに「地域の皆様がいつまでもお元気で」との思いで12月1日に開設したサロンです。東町生活館にて、10:30～14:00の時間で第3土曜日に開催しています。活動内容は、おしゃべりの他、ゲームやカラオケを通じ、楽しいひと時を過ごしています。東町地区以外の方の参加も可能とのことですので、ぜひお気軽にお越しください。